

スマートムーブ実践推進による二酸化炭素排出削減事業（環境省補助）  
スマートムーブ活動勉強会開催結果

1. 開催目的 ①交通の温暖化対策としてスマートムーブを理解する。  
②スマートムーブ活動による低炭素社会なまちづくり（スマートシティ）を理解する。  
③スマートムーブ事業参加者の情報交流と共有を行い、活動の継続を推進する。  
④『Think global, Act local』に触れる。
2. テーマ 『移動からエコに！交通から考える低炭素社会を目指した私たちの活動』
3. 開催日程 平成 25 年 11 月 23 日（土）13:00～16:00（12 時 30 分受付開始）
4. 開催場所 高砂市生石研修センター
5. 内容 (1)講演 1 「移動からエコに！交通から考える低炭素なまちづくり」  
加藤博和氏 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授  
(2)講演 2 「気候変動を考える」～COP19 と福島から～  
藤野純一氏 独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員  
(3) 車座会議  
◎質疑応答  
・ COP19 で-3.8%目標の根拠が見えない。  
・ CO2 の重さとは何？よくわからない。など  
  
◎意見交換  
コーディネーター 加藤秀樹氏 ひょうごスマートムーブ推進コンソーシアム外部有識者  
(公益財団法人豊田都市交通研究所 主任研究員)

講演者を交え質疑応答や意見交換により、参加者の交流を促しさらにスマートムーブ活動への理解を深めました。

[エコドライブについて]

- ・自分なりの身の丈にあったエコドライブを心掛け、とにかく楽しむことを考えている。
- ・日頃から燃費記録を行うと楽しい。
- ・エコドライブは心の問題。CO2 だけでない。など

[エコムーブについて]

- ・環境家計簿をつけているが、車から徒歩に変える事を心掛けた結果ガソリンの購入量が半分になった。家計的にも効果がある。
- ・車では気がつかない事に気がついた。小学生の通学路で歩くと危ない所があるに気がついた。加藤先生（名古屋大学）が紹介された「交通エコマップ」がいいのでは。
- ・健康と風景を楽しみながら活動している。など

6. 参加者数 50名

区分	参加者数
事業関係者	42
一般	8
参加者計	50

地域	参加者数
明石市	8
加東市	6
神戸市	9
高砂市	10
加古川市	7
その他(姫路市・稲美町・大阪など)	10
参加者計	50

[会場風景]



[講演① 加藤氏]



[講演② 藤野氏]



[車座会議]



以上